

CSR経営を強化し、環境にやさしい 存在感のある企業を構築していきます。

新中期経営計画『躍進! over 1000』

「化学で“やさしい未来づくり”に貢献する」ことをミッションに掲げた前中期経営計画『チャレンジ・the Next』は、残念ながら売上高・利益ともに目標未達に終わりました。これを受けて当社は、解決すべき経営課題をすべて洗い出した上で、既存事業の再構築と新規事業の創生とを両輪とし、従来の延長線上にない大胆な戦略を打ち出した新中期経営計画『躍進! over 1000』を2013年4月からスタートさせました。その課題とは、経営資源の選択と集中、事業(工場)の安定・安全操業の強化はもとより、収益性の高い新製品の開発・拡販の加速、コア技術の深化・拡大と新技術の獲得、グローバル化の推進などであり、堺化学グループならではの総合力をもって基盤強化に注力しております。

地域の皆様との共存共栄

経営計画が変わっても環境に優しく、人々の豊かで快適な暮らしに役立つ製品・サービスを世に送り出すことを第一に考える姿勢に変わりはありません。

発生から2年半が経過したあの東日本大震災では、東の生産拠点である福島県いわき市の工場が甚大な被害を受けましたが、奇跡的にも津波や原発事故による直接的な被害は免れたため、地域で一番早く復旧を果たすことができました。これは全従業員が一丸となって昼夜を問わず懸命に全力を傾けたことはもちろんですが、自らも被災された取引先や地域の方々から多大なご支援を頂いた賜物でありました。いかに日頃からのコミュニケーションが大切かをこの時ほど痛感させられたことはありませんでした。

これからも、製品をつくり出す事業活動の過程での従業員の安全と健康に配慮し、地域環境の保全に努め、地域社会の皆様との共存共栄を深めることを目指してまいります。

編集方針

本報告書は、ステークホルダーの皆様との対話を図るため、RC(レスポンシブル・ケア)活動のうち、主に環境および社会的側面に関わる堺化学工業の取組みを報告しています。

報告書の対象範囲

対象期間:
2012年度(2012年4月1日から2013年3月31日まで。
ただし、一部のデータについては2013年4月以降の活動も含んでいます)
データの集計範囲:
堺事業所、小名浜事業所、湯本工場、泉北工場、大剣工場

安心・安全な化学メーカーを目指して

近年日本の化学メーカーでは大きな火災事故が発生しております。一度事故を起こせば、工場の損害のみならず、地域の方々からの信頼や信用を失い、さらには製品の供給停止によりお客様に多大なご迷惑をお掛けすることとなります。このような事故が近年多くなってきているのは、知識・経験豊富なベテラン社員である団塊の世代の方が大量に退職されたことや、省力化が進み一人で担当する監視範囲の広がったことが背景にあると思われます。すなわち現場力が低下しているからではないかと考えています。当社も例外ではなく、基本からしっかりとした従業員教育により技術の継承や安全意識の徹底を図り、すべてのステークホルダーの皆様へ安心をお届けできる会社を目指してまいります。

創業100周年に向けて

当社は5年後の2018年に創業100周年を迎えますが、これまで同様「企業行動基本方針」、「環境基本方針」の下、地球環境に配慮した生産活動を行うことはもちろん、優れた製品・サービスの提供や企業の成長を通じ、ステークホルダーの皆様への信頼と満足を得るべく、地道な取組みを続けることが大切であると考えております。

事業活動における「研究開発⇒原料調達⇒製造⇒販売⇒物流」という一連の流れの中には、サプライヤー、従業員、協力会社、工場周辺地域、顧客、物流会社、そして事業活動を支えて下さる株主の皆様、社会があります。この中のひとつでも疎かにするようなことがあっては事業継続はあり得ないものと肝に銘じて日々取り組んでおり、様々なステークホルダーの存在を認識し、多面的な視点で社会貢献を行っていきたくと考えております。

今後とも企業価値の向上とCSR経営を進化させ、存在感を発揮し続ける企業を目指してまいります。

ステークホルダーの皆様には、本報告書をご高覧頂き、当社の基本姿勢や活動内容についてご理解を深めていただくとともに、引き続きご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

取締役社長

藪中 巖